

県政ネットワーク

Web <http://tadamitu.com>
E-mail tadamitu@sweet.ocn.ne.jp

県政ネットワーク発行者
発行人 田中ただみつ
所在地 〒633-2166
宇陀市大字陀迫間 51-3
電話 0745-83-1188
FAX 0745-83-3272

令和3年2月議会報告

令和3年度予算、2年度補正予算 をはじめ、議案合計88件審議 理事者提出案件は成立

今議会の最大の審議テーマは「令和3年度予算」と

「新型コロナウイルス感染症対策
の審議でした。

新型コロナウイルスの感染について、隣接の大阪等から大きく影響を受けます。奈良県は、感染者把握への対応、治療への対策など毎日刻々と変化の中で厳しい運営を迫られました。

3月末までは、感染者のほとんどが県外で感染し、その感染者に対する治療の効果もあり、持ち込まれた感染は家族の中だけで収束していたように思われます。

一部の学校教育現場での感染対応も、そこから大きく外部へ拡散することもなく、対策が進んでいたと思っています。

しかし、令和3年度に入って、急速に県内での感染の拡大の仕方が変わってきたように思います。

変異株といわれるウイルスが騒がれるようになってから、急に感染が一層拡大したように思えてなりません。

宇陀地域においては、県外からの感染というより、県内での職場内感染や家庭内感染だと受けとめられるデータの公表がなされています。

保健所は、感染者の報告があると、お住いの家の消毒、ご家族への聞き取り、ご本人が出かけられた先々への聞き取りなど、防疫の保健処置がすすめられます。

私達の身の回りに「症状がない、本人が気づいていない潜在的な感染者が存在するのだ。」との気持ちを持ちつつ、ご自身の安全をどのように確保するかを改めてお考え下さい。

コロナ感染症かな？と思ったとき、37.5度以上の熱が出たときは、かかりつけのお医者さんに電話で連絡をしてください。

かかりつけ医の持たない方は、電話で新型コロナ・発熱患者受診相談窓口「0742-27-1132」に、つながないときは市役所へご連絡をお願いします。

連絡なしに直接診療所に行くことは、待合室の方々に感染してしまう危険性がありますので、電話でお医者さんの指示を受けてください。

コロナ感染症になると、その症状によって、担当医師の指示に基づく生活となります。入院、ホテルでの隔離生活、家庭内隔離生活など、生活が変わります。

本人はもちろん、家族に対しても外出の制限が求められることもあり、急に生活が束縛されることとなります。蔓延を防ぐためには守らなければならないことですが、大変な思いをされることとなりますので、

外出先で感染しないことが何より大切です。さる6月県議会において予算の補正

を行いました。5月の緊急事態において、奈良市をはじめ感染者が急増加している地域では、経済的に影響を受けている家庭が多くなってきました。

そこで、奈良県知事の専決処分としていくつかの支援を決定し実行しています。

コロナウイルスとの闘い

こども・女性局では、

- 1, 低所得の子育て世帯への生活支援特別給付金
児童扶養手当受給者等に対し、生活支援特別給付金を給付 給付額児童1人当たり50000円
- 2, 高等職業訓練促進給付金
ひとり親の就業促進に向けた資格取得を支援するため、高等職業訓練促進給付金を拡充、カリキュラム機関の要件緩和、対象資格の追加、期間の延長、給付額等
- 3, ひとり親家庭住宅支援資金貸付原資造成補助金
県社会福祉協議会に対し、自立に向けて意欲的に取り組む児童扶養手当受給者に対する住居の借り上げ資金の貸付原資造成

福祉医療部では、

- 生活福祉資金貸付原資造成補助金
生活福祉資金〔緊急小口資金、総合支援資金(生活支援費)〕の申請受付期間の延長に対するための貸付原資の積み増し
- 生活に直結する資金関係なのでの専決処分は妥当なことだと理解しています。

コロナワクチン

早期実施を宇陀市へ要望

田中ただみつ(自由民主党宇陀支部の支部長)は、5月に支部役員会を開催し、新型コロナウイルスの重要な対策であるワクチン接種について宇陀市長に要望書を5月14日提出しました。

コロナウイルス対策の先頭に立つのは市町村です。市町村がどのようにワクチン接種を進めるかによって今後の感染動向が変わってくるので具体的な進み具合に注目したいと思っています。

5月時点で医療関係者、施設関係者、85歳以上の対象者については、すでに接種が進められておりました。しかし、当時75歳以上の方々への接種達成目標が9月であったために、80歳超の方々から、接種予定はどうなっているとの問い合わせが相次ぎました。

5月の要望書 主な内容

今準備を進めつつあるワクチン接種が早急に実施されることが何より大切であると存じます。

つきましては、以下三点を要望します。

- 1, 高齢者のみならず働く世代に対しても早期に接種を開始すること
- 2, 接種スケジュールを対象者に早急に通知すること
- 3, 既対策実施状況そして計画状況を開示し、市民の不安感を取り除くこと



令和3年度 宇陀地域の公共事業

宇陀地域における道路予算の主なものは、**榛原玉立から奈良市都祁吐山間の香酔峠の道路改良**
香酔峠の旧カーブの解消と狭くなっていた部分を広げるための工事を行っています。切り取っている地盤に岩が出てきたため工事が難航しています。
榛原萩原交差点改良

交差点改良は宗祐寺側の未整備に取り掛かります。
大宇陀石清水笹峠改良拡幅
頂上の拡幅が終わり西側の部分の改良を行います。
宇陀市室生の上田口辰尾橋につながる道路改良
上田口黒岩の拡幅された近くを施工します。

宇陀地域の未来への足掛かり 奈良県新広域道路交通ビジョン・計画

奈良県は、「道路法等の一部を改正する法律」が平成30年3月に公布・施行され、重要物流道路制度が創設されました。このことを受けこの度、「奈良県新広域道路交通ビジョン・計画」の計画原案を策定し開示を行いました。その後、パブリックコメントを行い取りまとめが行われました。

その結果は6月議会において、議会にはかられました。

その主な内容は、ビジョンの位置づけとして、おおむね20~30年間の中長期的な視点での将来像を踏まえた広域的な道路交通の今後の方向性を定める。その中で、広域道路を指定し国がその中から重要物流道路の指定を行うこととなります。

宇陀に関しては165号線を重要物流道路として位置づけられています。

県議会報告

美榛苑問題

前市長が業者と「密約」

定額納付金 減額の確約書

宇陀 宇陀市は11日、市有温泉宿泊施設「美榛苑」の指定管理を巡り、高見省次前市長が業者との間で、市に支払う定額納付金の減額を約束する「確約書」を交わしていたと発表した。会見した金剛一智市長は「いわゆる密約で、市のイメージアップを削っていたのに残念」と述べ、詳しい経緯を説明では高見前市長と

東があったが実現せず、20年度分を減額する文書の作成を求め、確約書を受け取ったという。市は業者から19年度分の納付金を100万円しか受け取っておらず、後日、残る1000万円と遅延損害金の支払いを受けた。20年度分は全額納付されており、市の損失はないとしている。

業者は取材に「約束だったので半額しか払わなかった。確約書は正式な文書だと認識していた」と憤る。高見前市長は確約書を交わしたことを認めただが「19年度分の減額を約束した覚えはない。20年度分は市長を続けていれば正式に手続きするつもりだった」と話した。【広瀬晃子】

いました。その当時、今後の方針について特別なことは決めていなかったと記憶しています。

行政の進め方をよく理解している金剛市長は、方針を示しつつも、市民の代表である市議会議員の理解を得るよう努められ、行政がスムーズに運営されることを願っています。

市民の方々から、美榛苑は市民が楽しくくつろげる場であったので、これからも市民の期待に応える運営を心掛けてほしいとの要望も寄せられています。

編集後記

今回の掲載は新年度(4月以降)に入っただけで発行する予定でしたが、何かとスケジュールが立て込み、遅くなりました。次号は、6月議会での質問及び答弁を報告します。

「今、国政、県政は大変ですが、地域、奈良のため頑張ります。 **元氣です。**」

美榛苑

をめぐる

右上の新聞コピーの内容は、美榛苑の契約を私物化していたとしか言いようのないものです。

現在の運営者への決定に関し、その経緯がスムーズなものでなかったため、疑問や不信を募らせることになり、美榛苑の将来が心配されるようになりました。

宇陀市が契約をする場合、議会の承認が必要となります。前市長の個人印契約がなされた日付は、市議会の不信任が決まってから2日後の、市議会を解散する直前に行われていたとのことでした。

一般的には、不信任を受けた後は、本人が辞職するか、あるいは議会を解散するかの選択を行うため、以後を拘束する契約等は行わないのが通常です。ましてや、個人印で契約することは、密約になってしまいます。市民や支援者を裏切った行為と言わざるを得ません。市は、当初の契約通りの納付を求め、正常化がはかられました。

自治体会計運用の基礎

- 1, 議会で認められた予算に基づき執行する。
- 2, 予算の執行は担当者個人で行うのではなく、責任者の指示を仰ぐ。
- 3, 会計に関する契約は、少額を除き入札を行う。
- 4, 理事者(市長等)であっても単独、個人で契約しない。
- 5, 執行された支出は、決算報告として議会の承認が必要。

今後の方針

現契約が来年3月で終了します。そこで、令和4年度からについては、3年契約の指定管理者制度で施設運営を行うとの方針を抱いている旨の表明が新聞になされていました。

今後のコロナ禍での観光が不透明な中で長期方針の決定をさけ、宇陀市の宝である温泉施設の将来展望像を描いていこうと考えていると思われます。

全国的に観光施設の在り方について、観光地訪問の在り方が注目されている時だけに、宇陀市の期待されている保養施設が今後どのように築かれ運営されるのか関心と期待が寄せられているところです。

市長選挙時に金剛市長は、「温泉は宝だ」と言われて

大宇陀高校・榛生昇陽高校の今後

大宇陀高校・榛生昇陽高校は在校生の卒業をもって、その役割を終了し閉校することになります。大宇陀高校では今年2年生、3年生の生徒が在籍しており、令和5年3月の卒業生が最終卒業生になります。榛生昇陽高校では今年4月の入学生が卒業する令和6年に閉校することになります。それまでの2年間は同じ敷地の中で、榛生昇陽高校と宇陀高等学校が両立することになります。

宇陀高等学校は令和4年度から

宇陀高校は普通科、情報科学科(プログラミング教育、実社会での問題発見・解決に活用、理科系)、こども福祉科(総合学科)(1年生普通科と同じ基礎、2年生以降介護福祉、保育・幼児教育、看護医療を含めた福祉全般の3系列)、専攻科(介護福祉科一介護福祉士を養成する。ラヒホイタヤ科一高校卒業生を対象として福祉・保育・看護等に幅広く対応する人材を育成。2年間。)が設置されます。

※専攻科の卒業で福祉関係資格試験の受験資格を得られるようになります。

県畜産技術センターを視察



宇陀市大宇陀にある畜産技術センターを視察しました。マスクは当然のこととして、帽子、細菌を持ち込まないための防護服、手袋、畜舎に入るたびに長靴の交換、畜舎入り口での消毒など、厳重な警戒対策を受けての視察でした。

このセンターでは、鶏、豚の品種交配による優良な雛や子豚の安定的な生産確立を目指した研究や取り組みが行われていました。

田中ただみつ県議 最近の政治的立場

国民政治協会奈良県支部 会長に就任

昨年暮れに国民政治協会奈良県支部会長への就任要請があり、会長職を引き受けました。国民政治協会は、秩序と活力ある自由社会の発展と健全な議会制民主主義の確立を図り、国民生活の向上に資するために設立されました。

北方領土返還要求運動奈良県民会議 会長に就任

太平洋戦争(第2次世界大戦)が終わる直前、当時のロシアは、北方領土に侵攻してきました。そこから、今日まで現状の実態が続いています。

戦後、沖縄返還がアメリカ政府と話し合いの中で行われた後、北方領土の返還についても平和的交渉で返還を実現すべく国民運動が活発になりました。

この運動に賛同する団体や個人によって、広報活動や啓発運動、子どもたちの作文コンクールなどが毎年取り組まれています。

不断的な努力が求められていると思っています。



五條市にかけられている返還要求運動幕にて